

<運用中>

- **Perseverance(2020,米)**：生命の痕跡探査および火星表面のサンプル採取が目的。
- **天問1号(2020,中)**：周回機・着陸機・ローバからなるミッション。ローバ(祝融1号)による火星表面の観測を継続中。

<打上予定>

- **MMX(2024,日)**：火星圏の観測と火星衛星フォボスからのサンプルリターンを行う。
- **MOM2(2024,印)**：MOM1に続く火星周回機。詳細は未発表。
- **MSR(2027,米・欧)**：Perseveranceのサンプルを地球へと持ち帰る。周回機は2027年、ランダは2028年打上げ予定。
- **ExoMars(2028,欧)**：ESAがロシアと共同で2022年の打上げを目指し開発進めるも、ウクライナ侵攻を機に決別。ESA側は2028年の打上げを目指す。
- **天問3号(2030頃,中)**：火星表面からのサンプルリターンミッション。MSRと同様、サンプル回収用のローバと地球帰還用の周回機を別々に打ち上げる計画。

